**「集会」学習指導略案**

日　時：平成２９年７月２０日（木）９：４５～１０：４５

場　所：プレイルーム

対　象：小学部１～６年（１７名）

指導者：小学部教員（９名）

**１．題材名：「えほんしゅうかい」**

**２．題材の目標**

（１）大きな集団の中でも適切な態度で話者に注目し、語りに耳を傾けることができる。

（２）想像力を働かせ、おはなしを聞いたり、声を出したり、体を動かしたりしながら、絵本の世界を友達と一緒に楽しむ。

**３．準備物：**「プログラム表」を参照

**４．展開**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導内容 | 留意点 |
| * 集合する。 * 挨拶をする。 * 予定を聞く。 * おはなしを鑑賞する。   ★「プログラム表」参照   * まとめをする。 * 田沼さん、保護者の方々にお礼をする。 * 挨拶をする。 | * （期待感をもちながらも）静かに、入室し待つ。 * 話者に注目する意識や、活動へ期待を高める。 * 大きな集団の中でも適切な態度で話者に注目し、語りに耳を傾けることができる。 * 想像力を働かせ、おはなしを聞いたり、声を出したり、体を動かしたりしながら、絵本の世界を友達と一緒に楽しむ。 * 本時の活動を振り返ることができる。 | * 各担任は、朝の会及び移動直前に児童の期待感を高めるよう努める。 * 児童は各教室から自分の椅子を運ぶ。 * 前列１～３年、後列４～６年の２列横隊とする。 * まねっこ遊びや手拍子、発声等を通して、視線集中や姿勢保持への意識を喚起する。 * プログラムのポスターを掲示するが、期待感を高めるために、進行に伴いカードをはり進める方式をとる。 * 読み手は児童の興味を引くための工夫をする（手遊び、大道具・小道具の使用、紙芝居台の使用・スクリーンの使用他、児童参加型の内容にするための工夫）。 * 内容と無関係な離席、おしゃべり等は別として（判断は難しいが）、児童の自発的な言動を丁寧に吸い上げたり、それを全体で共有したりする等の支援を教員間で目配せをしながら行う。おはなしの流れや時間を考慮しながら、児童の思いを大切にする。 * 残り時間に応じてプログラムのポスターを参照しながら児童の感想を聞いたり、楽しかったおはなしを選んでもらったりする。 * 図書スペースの活用や夏休みの読書を勧める。 |